

1 平氏政権への反発

①急速に勢力をのびた平氏は、<1. >や院近臣らから反感をうけた。(2.)年、院近臣の<3. >や僧の<4. >らが京都郊外の(5.)で平氏打倒をはかり、失敗する事件がおこった。

②この(6.)に対して、<7. >は、3・4ら平氏に反発する者を厳しく処罰した。1に対しては罪を問わなかったが、同年6月に娘の盛子^{もろこ}が、7月に長男の<8. >が相次いで亡くなり、7はショックを隠せなかった。そんななか、1は7と相談もせず2人の持っていた領土を没収するなどしたので、7は激怒し、1を(9.)に幽閉して、(10.)した。

③さらに翌年、(7)は、娘の徳子が生んだ当時3歳の<11. >の即位を実現させ、天皇の外祖父として勢力をふるったが、このことは南都・北嶺を含む反対派勢力の結集をうながすことになった。

(1)平清盛は、1180年、どの天皇の外祖父となったか? ()

2 源平の争乱~平氏滅亡

①この情勢をみた後白河法皇の皇子<12. >は、1180年5月、平氏打倒の挙兵をうながす^{りつじ}令旨を発し、畿内に基盤をもつ源氏の<13. >とともに挙兵したが敗死した。

(1)源頼政と平氏打倒の兵をあげた後白河法皇の皇子は? ()

②このあと平氏は、大輪田泊^{おおわ、だのどまり}に近い摂津国の(14.)に遷都したが、大寺院や貴族たちの反対で、半年後に再び京都に戻った。この間、(12)の令旨に応じた<15. >が(16.)で、<17. >が木曾で挙兵し、5年間にわたる全国的な内乱となった。これを(18.)という。

(1)平清盛は、1180年にどこに都を移したか? ()

(2)以仁王の呼びかけに応じ、伊豆で挙兵した人物は? ()

(3)(2)と同様に、信濃の木曾で挙兵した人物は? ()

③ 1180年8月、<15. >は相模国(神奈川県)の(19.)
に敗れたが、この後源氏ゆかりの(20.)に本拠地をすえ、(21.)
で平氏を破った。そして、御家人を統制する(22.)を設置した。

(1) 源頼朝は挙兵直後に平氏方の武将大庭景親と戦い大敗したが、この
戦いを何という? ()

(2) 1180年におかれた御家人の統率・軍事・警察の任にあたった機関は?
()

④ 一方、平氏政権に反抗した(23.) [奈良] の(24.)・(25.)
などの大寺院を、1180年12月、<26. >が焼失させた。これを
(27.)といい、のちにそれらが復興するなかで、新しい寺院建築や
仏像彫刻が生まれた。

⑤ 翌年の1181年2月に、<7. >が急死し、4月には(28.)
が起こり、平氏の基盤は弱体化した。そんな状況で、(29.)年5月、<17. >
は(30.)で平氏を破って北陸から入京し、平氏は
<11. >を連れて西国に都落ちした。

⑥ このとき<15. >は京都の後白河法皇と交渉し、寿永二年十月の宣旨
により、(31.) (東海道・東山道) を認められた。そして、(17) が法皇と対立
するようになると、(15) は法皇の要請を受け、弟の<32. >・<33. >
を京都に送って(17) を討たせた。(1184年1月)

⑦ さらに(32)・(33)の軍は、1184年2月には摂津の(34.)、ついで翌年
の1185年2月には讃岐の(35.)で平氏を破り、(36.)年3月に、
(37.)国[山口]で行われた(38.)で平氏を滅亡させた。
このとき、(11) は入水し、鏡・剣・玉の三種の神器のうち、剣が失われた。

(1) 1184年2月に、摂津国に集結した平氏の軍が敗れた戦いを?
()

(2) 1185年2月、讃岐国の平氏軍を源氏軍が奇襲し、敗走させた戦いを?
()

(3) 1185年3月に長門国で行われた、平氏が滅亡した戦いを?()

(4) (1)~(3)で活躍した頼朝の弟を2人あげよう。()・()

③鎌倉幕府の成立

①<15. >は、平氏追討をすすめる一方で、関東の荘園・公領を支配し、武士たちとの間に主従関係を結んで(39.)として組織し、新しい政権をつくりあげていた。1180年の挙兵後まもなく、(39)統制のための(22.)を設け、(22)の長官である別当には有力(39)の<40. >を任じた。

(1)侍所の初代別当は？ ()

②1183年に平氏が都落ちすると、(15)は後白河法皇に東国の支配権を認めてもらったが、これを(41.)という。そして、翌1184年には、一般政務を担当する(42.)[(後の(43.))]を設け、下級官僚であった<44. >を別当に任じ、同年、裁判事務を司る(45.)も設け、下級官僚の<46. >を執事[長官]に任じた。

(1)1184年におかれた、一般政務や財政を司る機関は？ ()
(2)(1)は、1191年頃に何と名称を変えたか？ ()
(3)1184年におかれた、裁判業務を司る機関は？ ()

③(36.)年、平氏の滅亡後、(15)の強大化を恐れた後白河法皇は、<33. >に(15)の追討を命じた。(33)は挙兵したが失敗し、(47.)を頼った。これに対し(15)は、京都に軍を送り、法皇に(33)追討の院宣を出させ、(33)追討を名目に、諸国に(48.)を、荘園や公領には(49.)を任命する権利や1段あたり5升の(50.)を徴収する権利などを獲得した。こうして、(15)は全国的な軍事・警察権を獲得し、(51.)が成立した。

(1)1185年、源頼朝が対立した義経の追討を名目として、国ごとに設置したものと、荘園・公領に設置したものは？ 国：() 荘園・公領：()

④追われた(33)は、(47)のもとに逃げ込み、3代目の藤原秀衡は(33)を保護したが、子の4代目<52. >は、(15)の勢いを恐れて、1189年に(33)を滅ぼした。その直後、(33)をかきまとり、(15)は(52)を討ち、(47.)を滅ぼし、陸奥・出羽2国を支配し、(53.)を設置した。(54.)年には後白河法皇から(55.)に任ぜられ、法皇が没すると、(56.)年に、親幕派の関白<57. >のはたらきで、(58.)に任命され、名実ともに(51)が確立した。